

2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2021年11月13日
- 事業名 : 命を脅かす病気を持つ子ども、その家族に寄り添い共に歩む場作り
- 資金分配団体 : 公益財団法人原田積善会
- 実行団体 : 一般社団法人北海道こどもホスピスプロジェクト

① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
①-1 (1) LTC の子ども・家族に向けたパンフレット、HP 作成	配布先（協力医療機関、協力福祉施設、患者会など）の数	配布先が増加する	2024 年 3 月	協力団体が 5 か所増えたことによりはいふさきが増加	2
	HP・Facebook ページの閲覧数	HP・Facebook ページの閲覧数増加する	2024 年 3 月	Facebook のフォロワー数が増加	2
	ちらし・HP でイベントを知った参加者の人数	ちらしを見て新たに参加した人数が増える	2024 年 3 月	9 月のイベントではコロナ禍ということもあり、Facebook 広告および既に参加くださっている方に参加を呼び掛けた。ゆえに、12 月のイベントからとなる。	2

	HP と Facebook ページの更新頻度	更新頻度が増加する	2024 年 3 月	Facebook の更新頻度増加しているものの、HP の更新頻度は変わらず。10 月より事務職員を雇用したことにより、今後は頻度を上げていく	2
① - 1 (2) 理解促進につなげるために、ホスピスカーで各地の地域イベント、企業等にブース出店（こどもホスピスの説明、物販、こどもたち向け遊びのミニ・ワークショップ）	ブース訪問者数	ブース訪問者数（50 人）	2024 年 3 月	車を購入するのが今年度下半期、塗装が来年度上半期のため、まだ未実施。来年度下半期より開始予定（以下同様）	2
	資料配布数	訪問地の関係団体に資料を配布する	2024 年 3 月		2
	ワークショップ参加者数	ワークショップ参加者数（25 人、ブース訪問者のうち 50%）	2024 年 3 月		2
	利用者の声	利用者から肯定的な反応が得られる	2024 年 3 月		2
	イベント後の寄付額	イベント後の寄付額が増加する	2024 年 3 月		2
① - 2 (1) 仮の場ができる	仮の場ができる	仮の場ができる	2024 年 3 月	地域新聞社の協力を得	2

			月	て、仮施設の協力者募集を12月に実施する予定	
(2) LTC のこども・家族向けのイベント開催	参加者数	イベント参加家族数を上げる	2024年3月	コロナ禍ということもあり、9月の野外イベントは1組の参加となったが、12月のイベントに関しては初参加者の申し込みが複数来ている	2
	リピート率	リピート率を上げる	2024年3月	助成を受ける前からの参加者がイベントに継続的に参加してくれている	2
	開催回数	年間のイベント回数を増やす	2024年3月	コロナ禍ではあるが、予定通り実施できている	2
	開催地の数	イベント開催地を札幌以外に広げる	2024年3月	12月、2月に旭川にて実施予定	2
(3) ホスピスカーの完成	参加者数	地域の対象者の参加が増える	2024年3月	車を購入するのが今年度下半期、塗装が来年度上半期のため、まだ未実施。来年度下半期より開始予定（以下同様）	2

	提供するプログラムの内容 と数	利用者アンケートを反映して プログラム内容と数が増える	2024年3 月		2
(4) スタッフの雇用	ボランティアスタッフの確 保	ボランティアスタッフ数を増 やす	2024年3 月	今後は、活動が進むよ う、より専門性の高い ボランティア（例 動 画編集）を確保でき るよう働きかけを強める	3
	研修の回数	研修会を3年間で5回開催す る	2024年3 月	仮施設を借りる来年度 より実施予定	2
②-1(1) きょうだい支援の理 解を深める研修会	研修会の開催回数	5回開催する	2024年3 月	既に10月2日に北大・ 東北大との共催で1回 札幌（オンライン併用） にて開催済み。2月に旭 川で開催予定。	1
	研修会の開催地数	3つの市で研修会を開催する	2024年3 月	今年度札幌で実施、旭 川で実施予定。	1
	研修会への参加者数	3年間で100名以上の参加者 になる	2024年3 月	札幌での開催が46名。 旭川でも20名以上の参 加者が見込まれる。	1
②-2(1) きょうだい向けのイ ベント実施	(1) きょうだいむけのイ ベント参加者数・リピート 率	毎年参加者が増えていく	2024年3 月	2月に初めて実施予定 （以下同文）	2
		リピート率が上がっていく	2024年3		2

			月		
	(2) きょうだいむけのイベント実施数	開催数が増えていく	2024年3月		2
② - 1 LTC のこども・家族が孤立しないための病院・患者団体・行政とのネットワーク構築(LTC の子ども・家族の課題やこどもホスピスの意義に対する理解促進とコミットメントを引き出すための協議)	患者団体との連携団体数	患者団体との連携が10団体となる	2024年3月	NPO 法人市民」と共に創るホスピスケアの会、がんの子どもを守る会札幌支部、心臓病の子どもを守る会札幌支部、AYA キタ! と定期的なオンラインミーティングを開催すること、イベント等の告知で協力を得ることの約束を得る。	2
	北大病院との定期ミーティング回数	北大病院との連絡協議が年6回となる	2024年3月	12月1日から再開予定(北大勤務のCCSが育児が落ち着いてきたことから11月より活動に復帰することにより加速していくことが予想される。) 以下同文	3
	北海道庁、札幌市との土地交渉の協議の回数	北海道庁、札幌市との協議月1回	2024年3月	12月1日から再開予定	3
"③ - 2	講演会への参加者数	講演会平均来場者数が100	2024年3月	10月の講演会は、コロ	2

<p>(1) LTC のこども・家族が地域社会のなかで孤立しないための市民、企業、スポーツ芸術、文化団体とのネットワーク構築 (LTC の子ども・家族の課題やこどもホスピスの意義に対する理解促進のための講演会や協力企画*の推進) * 応援団、募金箱含む"</p>		<p>から150になる (コロナ禍の会場制限等により変動あり)</p>	<p>月</p>	<p>ナ禍の制限下で対面講演を実施したため会場の三分の一40名程の参加者としたが、現在の状況が続けば最終的には目標値を達成できるものと考えている。</p>	
	<p>賛助会員数</p>	<p>賛助会員数が53から150になる</p>	<p>2024年3月</p>	<p>現在メーリングリストを作成中。それにより、賛助会員を紹介して頂くことを実践予定。また、クレジットカード寄付で扱うクレジットカードの種類を増やし、寄付しやすい環境を整えた。</p>	<p>2</p>
	<p>くまっこ応援団数</p>	<p>くまっこ応援団の数が2から30になる</p>	<p>2024年3月</p>	<p>コロナ禍ではあったが、1団体増やすことができた。事務教員を雇用したことにより、今後今までのイベント協賛企業等を中心にオン</p>	<p>2</p>

				ライン説明会を実施予定。	
	募金箱の設置数	募金箱の設置数が4から50になる	2024年3月	現在のところ設置数に変化なし。	3
	連携イベントの数	連携イベントが0から8になる	2024年3月	既に10月に北大・東北大との連携イベントを実施。	2

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
屋外でのイベントを企画し、三密を回避。

③ 広報（※任意）

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

北海道新聞全道版 10月17日朝刊15ページ「くらし」欄（10月2日のこどもホスピスプロジェクト講演会の記事）

2.広報制作物等

パンフレット 11月下旬発行予定、クリスマス会&ユニバーサルコンサート in 札幌、旭川ちらし 11月中旬発行予定

3.報告書等